

杉田やすゆき 活動報告

こちらでは主に杉田やすゆきオフィシャルブログで報告させていただいて
います、公私の活動をご紹介します。

●創生「日本」第3回東京研修会
会長 安倍晋三 衆議員議員
の講演を聞く。



●創生「日本」の懇親会で中曽根弘文
参議院議員と杉田やすゆき 国政に
ついて大いに語る。



●題材、「国旗日の丸」を描くで
地元の保育園児の作品、静岡県
三嶋大社境内に掲示。
この子らの為に、素晴らしい日本
国を残します。この子らもやが
て日本国を背負ってくれるでし
ょう。力強い「日の丸」を見て
そんな思いが湧きました。



●上新田地区（上）
の町屋寄り十字路



この交差点は最近、
自動車の抜け道と
なり朝の通勤時間
帯は、わずか30分
間に約90~100台



が通学路を横切ります。信号機はな
く学童の横断にも注意が必要でした。
そこで新町小学校長、スクールガー
ドリダー、学校応援団コーディネイ
ターの方々と協議をし、このたび、
町屋地区の5人の有志の方々の、ご
協力により交替で朝の立哨、見守り
活動に、ご活躍を頂いております。
ご愛念に感謝いたします。

上新田地区と新町地区の住宅地
の中の交差点での衝突防止策で
「車対自転車、歩行者と自転車」
等の衝突防止の要望が地区住民
から寄せられ安全対策課に要請、
素早い対応に感謝いたします。
少しでも交通事故の軽減に寄与
すると思えます。
(地区内随所に施工)

●北本市の紅花（べにばな）です。
黄色や赤の鮮やかな色合いで、
古くは京の都で女性の口紅の染
料に使われたとか。
紅花摘みの少女の手は花のとげ
で指先に赤い血がにじむ。一方、
都では華やかな女性の口元をあ
でやかに染め上げる。
生産者と利用者のギャップを歌
い上げた詩がありました。



●防犯パトロール
「真冬は防寒対策をしていざ出発」
街の安全に目を光らせます。



●根室の納沙布岬に立つ。
北方領土を望む根室の
納沙布岬に立つ。
いまだ帰らぬ我が国の
固有の領土「北方四島」
の返還を強く望む



●自然環境のために
CO2の削減と環境負荷の低減の
ために。我家の太陽光発電です。



●議会改革の先進市である、千葉県流山市
議会を視察で「質問に立つ」。
わが市でも更なる議会改革に取り組み、
市民に対して開かれた議会活動に努めま
す。



●津波にさらわれた市街地
(土台基礎部分のみ残った)



●新町小学校の生徒達が作った「龍蛇」です。
迫力がありますね。鶴ヶ島市のシンボルの
一つで、4年に1度の（オリンピックの年に）
脚折雨乞い行事です。
本物は、30数メートルも有ります。



●平和推進活動
行政視察の原爆資料館の視察と平和公園と原爆ドーム
を視察してまいりました。



●安心安全のために、交通事故撲滅活動
交通安全のキャンペーン活動



●つるがしまの龍（ドラゴン）
鶴ヶ島市のユルキャラ「つる
ごん」です。
さくら祭りの会場にて。



●自分の地域の安心安全のために
防災訓練に参加しました。



編集後記「明窓浄記」 杉田やすゆき

皆様よりの多大なご支援のもと、議員になり、早、1年半が過ぎました。
地域の皆様からの、さまざまなご要望をうかがう中、一つ一つ、着実に
ご対応をさせていただいております。
主なことは歩行者や自転車飛び出し防止対策で路面への「とまれシール
プリント」（新町地域内）や、鉄砲道の上新田地区内の通学路の安全対
策（町屋地区有志の方々の毎朝の立哨活動）また、中新田地区内の自動車
通行禁止の踏切対策など、これらも、住民の方々のさまざまな、ご要
望に対し、小柄な体を大きく使い少しでもお役に立つ議員として微力な
がらこれらも研鑽、努力をして参ります。
どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。

平成24年度 鶴ヶ島市議会レポート Vol.2

杉田やすゆき ● 議会報告 ●

レポート内容

1. 3月の議会報告（一般質問より）
2. 6月の議会報告（一般質問より）



杉田やすゆき 議会内役職

- ・議会改革推進委員会 副委員長
- ・文教厚生常任委員会 委員
- ・坂戸、鶴ヶ島下水道組合議会 副
- ・会派 民政クラブ 副幹事長



被災地を訪問させていただきました。
まだまだ復興途上ようですが
現地の皆さんは力を合わせて復旧に
力を注いでおられます。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。



平成24年3月11日 東日本大震災より1年、
犠牲になった1万9千人余の方々のご冥福
を半旗を掲げてお祈りします。
また、34万3千人余の被災者の皆様方の
1日も早い生活の安定と、被災地域の1日も
早い復興を心よりお祈りいたします。
微力ながら、これからも私なりの協力を惜
しみません。
祈合掌



●津波にさらわれた市街地
(土台基礎部分のみ残った)



●被災した埠頭と、傾い
た巨大クレーン

●会派 民政クラブ全員で福島県小名浜港の震災の
被害と復興状況の視察に出向きました。

未来世代のために



杉田やすゆき後援会

〒350-2227 鶴ヶ島市新町 4-19-3
TEL・FAX 049-285-0765

ホームページ
やすゆき.net

杉田やすゆき

検索